

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)浜寺公園 新築工事計画	階数	地上9階
建設地	大阪府堺市西区浜寺公園町一丁目15	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	267人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年7月 予定	評価の実施日	2020年1月30日
敷地面積	2,445㎡	作成者	上西 賢
建築面積	796㎡	確認日	2020年1月30日
延床面積	5,378㎡	確認者	上西 賢



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.4

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.0

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.3

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.7

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	分譲マンションとして、エネルギー消費の高効率化・長寿命化のための様々な取り組みを行い、エンドユーザーにとっても住まうことに対するメリットが感じられる建物を目指した。	その他 特に無し
Q1 室内環境	マンションとしての住環境への一般的な配慮の他、住戸部分において温熱環境の向上を図った配慮(住宅性能評価断熱等性能等級「4」の取得)を行っている。	Q3 室外環境(敷地内) 落ち着いた外観・色彩計画や、緑地帯を出来るだけ確保する等の対策を行っている。
LR1 エネルギー	住戸部分において、住宅性能評価断熱等性能等級「4」の取得や、エコジョーズの採用、LED照明を全面的に採用する等、省エネルギー化に対する配慮を行っている。	LR3 敷地外環境 周辺環境に調和した植栽計画、照明計画を行っている。
Q2 サービス性能	住宅性能評価の構造躯体劣化対策等級「3」を取得する等、建物の耐久性に対する配慮を行っている。	
LR2 資源・マテリアル	住戸部において節水型便器を採用する等、水資源に対する配慮を行っている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)浜寺公園 新築工事計画	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市西区浜寺公園町一丁15番の一部、24番の一部	1	B+
	主用途/延床面積	集合住宅 / 5,377.62 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	3	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	2	● ● ● ● ●
エネルギー削減	3	● ● ● ● ●
建物の断熱性	4	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	3	● ● ● ● ●
自然エネルギー利用	○	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO ₂ 削減	評価項目	スコア	評価点	
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.0	3	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	2	
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		1.0
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値		3.0
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値	3.0	
エネルギー削減	評価項目	スコア	3	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		3.3
建物の断熱性	評価項目	スコア	4	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		4.0
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	3	
	バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値		4.0
	耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値		3.0
	地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値		3.0
	交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値	3.0	
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	○	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.0

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	